

十文字小学校 地域とともにある学校づくり

令和7年10月に、地域の方々、保護者、教職員の総勢48名で「十文字の子どもたちにどのように育てほしいか」をテーマに熟議を行いました。和やかな雰囲気の中、互いの思いや考えを認め合いながらおしゃべりできた、実りある時間となりました。



令和7年度3年生の子どもたちが、十文字町のよさについて調べ、シンボルマークを創作しました。熟議で参加者の多くが語っていた「ふるさとを愛する子どもたち」の思いを感じていただけたら幸いです。

認定こども園 こひつじ 一年の歩み・成長の発表会



一学期、二学期で経験した楽器、体操、歌やダンス、詩の暗唱などを三学期に発表します。中でも目を引くのは年長児の跳び箱です。子どもたちの真剣なまなざしは見る側も手に汗を握ります。毎年、たくさんの感動と笑顔に出会えるのが楽しみです。



ありがとうそして
またね!



みんなともだち!



「三重保育所」が令和8年3月をもって、長い歴史に幕を下ろしました。最後の一年とともに過ごした子どもたちは34名です。保護者の皆様や地域の方々など多くの方に見守られ、心も体も大きく成長しました。地域行事に参加し「よさこい」を披露したり、さくらんぼ狩りやさつまいも掘りをしたり、たくさんの体験ができたことも良い思い出です。最後はみんなで一緒に、黄色の園舎に「ありがとう、さようなら」の言葉をかけてお別れをしました。地域の大切な宝である子どもたちを、これからも見守っていただければと思います。

よんでたんしえ

畠山容子十文字地域局長がお届けするほっこりコラム



十文字にお住いの皆さま、いかがお過ごしでしょうか？お日様のあたたかさ、小鳥のさえずり、空の色…最近では春の訪れを感じられる瞬間が増えてきました。

▶時代の流れに合わせた動きが求められる昨今、平成23年11月から発行してきた「じゅうもんじ地域局だより」も、今回の46号が最終号となります。この紙面を通して、少しでもお役に立つことがあったならば、この上なくうれしく思います。市HP【ページID1003289】を検索いただくと、これまで発行した紙面をすべてご覧になれます。当時にタイムスリップしてみるのも楽しいかもしれませんね。これからも、様々な媒体を通して情報発信を続けていきますので、ご期待ください。▶さて、最終号は“十文字のこれから”に触れてみたいと思います。横手市では、旧十文字第一小学校等の周辺エリアを「シン・十文字拠点」と位置付けており、この3月に、エリア利活用の方向性や導入する機能等の考え方をまとめた基本構想を策定しました。名称の“シン”には、新しい「新」、軸となる「芯」、進化する「進」、賑わいの「賑」、成長・伸びていく「伸」と、様々な思いが込められています。狸々さまのいわれにあるとおり、ここ十文字は交通の要衝です。市をまたぎ、県を越え、山形県や岩手県、宮城県からも訪れやすい場所ですので、これに“シン拠点”としての魅力が加わることにより、更にみんなが引き寄せられる場所になることを思い描いています。▶ここで、横手市の現状に改めて目を向けてみますと、残念ながら人口減少は続いており、令和8年2月末現在では、横手市全体で78,659人（十文字11,183人）です。国勢調査によると、世帯総数は微減傾向で、核家族化が進んでいる現状にあります。また、0歳～17歳までのこどもの人口は、いずれの年代においても減少しており、特に就学前児童の減少が加速している状況から、少子化が進行していることが読み取れます。▶基本構想は、このような現状の厳しさを受け止めながらも、地域の方や中高生の若者など、多くの方のお力をお借りして策定しました。具体的な施設やゾーニング、概算事業費、事業手法、整備スケジュールについては、令和8年度に策定する基本計画に定めることとしており、こうありたいという強い願いと熱い想いを具現化していきます。▶ここ十文字が「子育て世代を中心に多世代が集まる憩いの場を核とした賑わい交流拠点」であるとともに、住んでいる私たちが、楽しく幸せを感じながら時を重ね、訪れる方を喜んで迎え入れることができるよう、期待を寄せるものです。“横”に人と“手”を取り合い、知恵を出し合い、力を合わせ、一人ひとりの今が輝きますように。これまでご愛読いただき、ありがとうございました。



2/7~8 第33回 あきた十文字映画祭

今年で33回目となる「あきた十文字映画祭」が三重地区交流センターで開催され、延べ1,500人が来場しました。横手市山内で撮影された「山内三又」の上映後には、主演の渋川清彦さん、江口のりこさん、杉田雷麟さんのゲストトークが行われ、撮影の裏話などで会場は大いに盛り上がりしました。



三重地区交流センター運営協議会では、かまぐららのライトアップや甘酒のふるまいなどでおもてなし。来場者の皆さんからも大変好評でした。

令和8年度分からともすけ共済の加入窓口が変わります

加入申込みはインターネット、取扱金融機関、郵便局でお願いします。

市役所窓口では加入申込みできません。



携帯電話やパソコンから24時間申込可能なインターネット申込はこちら



もしもの交通災害や不慮の災害に備えて、是非ご加入ください!!

交通災害共済
掛金年間 300円
通院1日目から共済金給付

不慮の災害共済
掛金年間 700円
入院1日目から共済金給付

共済期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
(4月1日以降に加入の場合は、加入日の翌日から令和9年3月31日まで)

詳しくは... 秋田県市町村総合事務組合で検索
問合せ先 十文字地域課 TEL 42-5111





こんにちは! 保健師です

皆さんは自身の健康をどのように守っていますか? 健康への思いは人それぞれ。今回は令和7年度の十文字地域局の地域局長、課長の皆さんに、健康についてインタビューしてみました。

「健康でいるため」に、私が日頃から心掛けていることは、次の三つです。
①1日3回歯を磨くこと ②朝起きたら背伸びをすること ③笑顔でいること。全てに共通していることは「気持ちよさ、心地よさ」。だから続いているのかもしれませんが。周りのことも自分のことも大切にしながら、ご機嫌に1日を過ごせたら、何と幸せなことでしょう。横手市では、健康寿命の延伸を目指すことを、健康増進計画の基本目標に掲げております。人は誰でも平等に歳を重ねていきますが、どんな風に重ねていくのかは随分と違うもの。今の自分を素直に受け止め、ありたい姿にちょっとでも近づくように日々を重ねることが、健康でいることに結びつくのではないかと考えます。



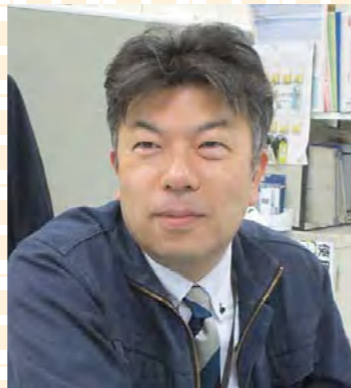
畠山地域局長



野村市民サービス課長

健康維持の3つの柱として「食事・運動・睡眠」が挙げられますが、私たちが心身共に良好な状態を維持するためには、日々の生活の中で少しずつ蓄積していくストレスの管理が非常に重要と感じています。趣味の時間を好き好きに没頭することで、日常生活のプレッシャーからの解放、ストレスの軽減が期待できます。「本を読む」「音楽を聴く」「映画を見る」「散歩をする」「ゲームをする」「踊る」「お酒を嗜む」「旅行に行く」、どんなことでも構わないので自分が好きだと思えるものを見つけ、実践していただけたらと思います。

かくいう私の長年のストレス解消法は、「競馬」。負けが続き、ストレスがむしろ激増しているケースも多々ありますが・・・

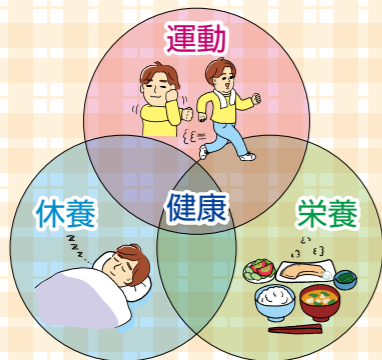


小國地域課長

今から15年前、私は「健康の駅よこて」の担当をしていました。その当時は運動指導スタッフが少なかったこともあり、事務職員でありながらも市民の皆さんに体操の指導や健康に関する講話をしていました。当時は、仕事をしながら運動ができ、様々な知識も得られて一石二鳥だったと思います。ところが、デスクワークの職場に異動になり、運動する機会がほとんどなくなってからは、かなり太ってしまいました。私もそうですが、バランスの良い食事、適度な運動、質の良い睡眠が重要だとは分かっている、はじめての歩が踏み出せない人や、はじめても続かない人は多いと思います。保健師さんには、私みたいな市民の皆さんに良いアドバイスがあれば伺いたいと思います。

健康三原則のポイント!

小さなことからコツコツと



栄養 主食・主菜・副菜のバランス
今より+小鉢1つ分の野菜をとりましょう。

運動 座りっぱなしを避けましょう。
今よりプラス10分動きましょう。

休養 規則正しい生活リズムと質のよい睡眠を。
寝る前のスマホは避けましょう。



活用してみませんか?

町内会や団体向け 補助金制度のお知らせ

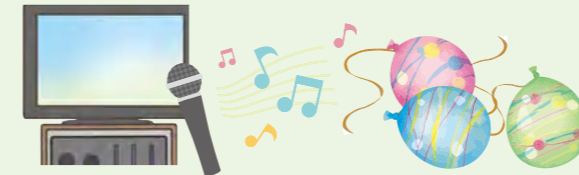
町内会等活動補助金

町内会等が実施する様々な活動(事業)費用を補助します。

【補助金額】世帯数に応じて決定

【補助対象例】あくまで一例です。

事業	補助対象経費
クリーンアップ	ゴミ袋代、トラック借り上げ料
防災訓練	炊出材料費、立会業者の委託料
夏祭りや納涼祭	カラオケ機材レンタル費、消耗品費



地域づくり活動補助金

地域課題を解決する活動や地域の活性化を図る活動に対し、経費の一部を補助します。

【対象団体】地域運営組織、共助組織、非営利団体など

	地域運営組織・地区会議	非営利団体・共助組織 (課題解決型事業)	非営利団体 (イベント型事業)
補助上限額	50万円	50万円	50万円
補助率	補助対象経費の10/10	補助対象経費の3/5	補助対象経費の1/2

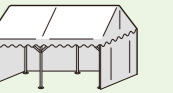
【補助対象例】雪下ろし事業、買い物支援事業、世代間交流やにぎわい創出イベント事業など

町内会等備品整備補助金 4月15日~

活動に必要な備品の整備費用を補助します。

【補助金額】補助対象経費の1/2以内、上限30万円

【補助対象例】エアコン、座卓、テント、冷蔵庫、簡易物置など



集会施設整備費補助金 4月15日~

自治活動の拠点となる集会施設(町内会館)等の整備に対して、経費の一部を補助します。

【補助金額】

新築・改築: 補助対象額の30%、上限400万円

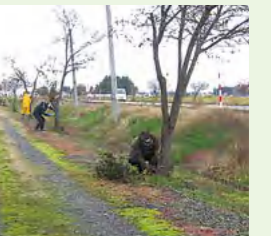
土地購入: 補助対象額の20%、上限50万円

建物補修: 補助対象額の30%、上限100万円

【補助対象】新築または全部改築、屋根や壁の修理、障子や襖の張替など

※既存建物の工事は対象外です。
※令和9年度に新築・改築工事を計画している場合は、令和8年10月15日(木)までにご相談ください。

三重地区会議
↓オカメ桜管理事業



予算に限りがありますので、お早めに申請してください。

まずは 十文字地域課地域協働係 (TEL 42-5113) または 地域づくり支援課 (TEL 23-6683) へご相談ください!

首都圏十文字会よりお知らせ

首都圏十文字会では、年に一度の総会や他のふるさと会との交流、関連イベントの応援など様々な活動を行っています。随時会員を募集しておりますので、ふるさと十文字を応援したい方、ふるさとの仲間との交流を深めたい方からの入会をお待ちしています。

問合せ先

まちづくり推進部十文字地域課
TEL 42-5113

首都圏十文字会 会長 高橋誠記
TEL 090-6495-0695

首都圏十文字会のHPはこちら↑



秋田県 春の火災予防運動2026

期間 4月5日(日)~4月11日(土)

例年この時期はごみ焼きなどが原因による火災が多発する傾向にあります。火災から命と財産を守るため、火の元には十分気をつけましょう。



十文字地域の統計情報

(R8.2月末時点)

